

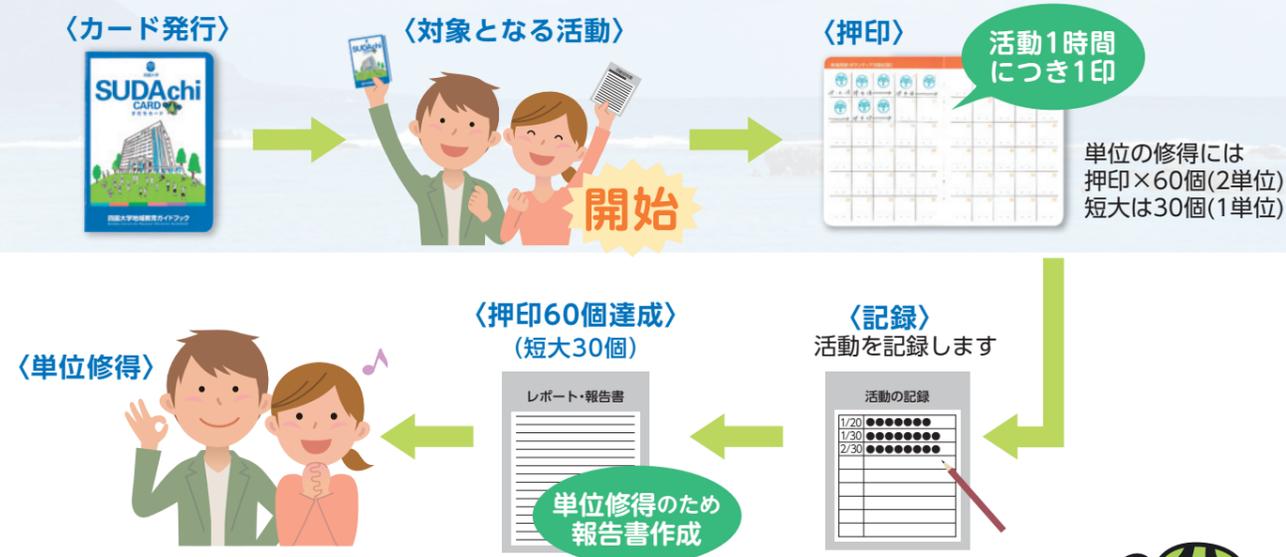
先進的地域貢献大学を目指して

●四国大学 地域教育プログラムの流れ

地域教育プログラムは、地域教育分野の「全学共通科目」、学生の自主的活動を基にした「自由科目」、地域志向型の「専門科目」及び新「あわ学」への取り組みなどの「地域研究」で構成されています。

自由科目「地域貢献・ボランティア活動Ⅰ」「地域貢献・ボランティア活動Ⅱ」「地域企業等研究活動」の3科目は、学内での講義や演習による授業ではなく、学生自らが在学中に学内外での社会に対する貢献活動、ボランティア活動や自らのキャリア形成、就職活動の準備に役立つ地域の企業等を研究する活動を行って、定められた時間数を積み上げることによって授業科目の学修として単位を認定するものです。この科目は、学年を問わず全学生が対象です。

[SUDAchI CARD]と単位認定の流れ



対象となる活動

- 学部、学科、専攻単位で行っている活動 ●キャリアセンターがコーディネートして行っている活動
- 学部、学科、専攻の学生のサークル単位で行っている活動 ●全学学生のクラブ・サークル単位として行っている活動
- 地域教育・連携センターがコーディネートして行っている活動 ●学生ボランティア活動支援室がコーディネートして行っている活動
- 学生の優れた取り組みに対する支援(学生支援GP)を受けて行っている活動 ●その他学生の自主的な活動

上記に示す地域貢献活動、ボランティア活動などが、自由科目(地域教育関連科目)の単位認定につながります。
(平成30年度SUDAchI CARD発行人数940人(平成30年12月1日現在))

SUDAchI Event NEWS

平成31年度

- ・私立大学研究ブランディング事業
- ・第9回 地域活性化フォーラム
- ・第3回 あわ検定実施



大学COC(Center Of Community)事業とは?

文部科学省支援の事業として大学と地域社会が連携し、全学的に地域に志向した教育・研究・社会貢献を進める「地域のための大学」を支援することで、**地域コミュニティの中核的存在として大学づくり**を目指すものです。

SUDAchI Project NEWS Letter

No.10

2019.2



とくしまを学び、協働で創生する。
四国大学COC事業SUDAchIプロジェクト!



四国大学大学COC事業今後の展開について
自らキャリア形成する力を身につけよう!

SUDAchIプロジェクトとは?

「SUDAchI」=Shikoku University Dream Achievement:四国大学夢実現
全学的な推進組織の体制を整備し、地域課題の解決に向けたカリキュラムの
充実を図り、特色ある「地域貢献型人材」を育成します。

大学COC事業今後の展開について

学 長 松重 和美

四国大学COC事業『とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業』では、平成26年度より本学が位置する徳島県の豊かな自然、伝統文化や産業、そして人間味ある人々の暮らしを座学だけではなく、学生が実際に地域へ入ることで、地域の実情を体得し、課題とともに眠る宝を見出し、自治体や地域住民と協働で課題解決に向けた取り組みを行ってきました。これらを推進する核として「四国大学地域教育・連携センター(愛称:SUDAchi 推進室)」を開設するとともに、県内3カ所(西部・南部・勝浦)に、スーパーサテライトオフィス(SSO)を開設し、地域に関する教育・研究の充実と自治体・企業や地元住民等との共

同研究や課題解決策を模索することで、地域の振興・活性化を格段に促進し、また「新あわ学研究所」や「あわ検定」を創設するなど徳島県の魅力を県内外に発信してきました。

平成30年度で文部科学省からの助成期間が終了し、一区切りを迎えますが、この事業の根幹にある「現場で学び、将来地域に貢献する人財を育成」の理念は、四国大学の地域教育の柱として位置づけ、今後とも組織の簡素化・高機能化や外部資金の獲得を計りつつ大学全体の取り組みとして、また地元自治体等とも一層密に連携して徳島の地域創生や地域貢献人材の育成に取り組んでいきます。

自らキャリア形成する力を身につけよう！



イオンスタイル徳島にてエシカルメニュー試食会をして

生活科学部 生活科学科 2年 坂東 凌

2017年からイオンスタイル徳島にて「地産地消の推進」や「食から徳島を元気に」をテーマとして試食会を開催してきました。2017年は徳島の認知度の低い特産野菜を、2018年は「エシカル」をテーマとしASC認証などエシカル商品を使ったメニューの提案と試食会を行っています。エシカルメニュー試食会の調査では県内のエシカル認知度は29%と全国平均(約10%)よりも高いとはいえまだまだ浸透していないのが現状です。徳島県消費者庁誘致に伴い県内から全国に向けて「エシカル消費」を皆様に知っていただきたいという想いから始めました。身近な「食」からアプローチを行うことで、皆様に「エシカル消費」の重要性が伝わればと思います。

第1回観光アイデアコンテストに参加して

文学部 日本文学科 1年 安丸うらら

観光アイデアコンテストとは、徳島県内の大学生がチームを組み、観光地へフィールドワークに行き、観光アイデアを創っていくプログラムです。

私たちのチームは高知城や桂浜へフィールドワークに行き、外国人観光客に高知県の魅力や訪れた理由を質問し調査をしました。今回のフィールドワークを通して、高知県ならではの良さを知ることや、外国人観光客の視点から高知県を見ることが大切だと学びました。

今後は、フィールドワークでの発見を基にして、高知県の魅力を活かしたアイデアを考えていきます。外国人観光客が興味を持ち、訪れてくれるような面白いアイデアを考えコンテストに挑みたいと思います。

WISE PLACEとくしまに参加して

看護学部 看護学科 2年 西木 琴音

私たちのグループは、地域の活性化をテーマに、交流を深めるための「流しうどん」の開催を企画しました。地域の人や普段あまり関わらない年代の方と意見を交えたり、試行錯誤をしたりする中で視野が大きく広がり、様々な立場で物事を考える柔軟性を身につけることができました。また、主体的に行動することが自身の考えにより深く影響すると学びました。実際に企画から携わり、大々的にイベントを立ち上げていく体験は中々できることではなく、この企画に巡りあえて自己成長ができた実感しています。

デリバリーサンタクロースに参加して

生活科学部 生活科学科 4年 白川 渚

今年が卒業なので友人との思い出作りとして参加しました。

1日目はプレゼントの回収を担当しました。大人の方が持って来たプレゼントを家庭ごとにまとめて、メッセージを書いてもらった物を回収していく作業でしたが、名簿を見ながら間違えないように袋づめをしました。2日目は各家庭に配る作業でしたが、ほとんどの子供達が喜んで受け取ってくれ、その際にプレゼントや手紙をもらい、心が温かくなりました。2日間という短い期間でしたが、普段話す機会がない年代の方とボランティアを通じて仲良くなれましたし、子供達が喜んでくれたことがとてもいい思い出になりました。ぜひ来年もたくさんの人に参加してほしいと思います。

安楽寺の調査に参加して

文学部 日本文学科 3年 山口 幸歩

私は博物館学芸員の資格取得を目指し、資格科目を受講していますが、授業で実際に資料に触れることはそうありません。しかし、今回安楽寺の調査に参加して、普段触れる機会のない掛け軸や絵巻などに触れ、先生や先輩方に教えていただきながら資料の分量を測ったりし、学校の授業では学べない実践的なことを勉強させていただきました。このような経験・力は自主的に動かなければ得られないものだと思いますので、これからも積極的に調査に参加し、経験を積んでいきたいと思っています。

和傘制作に参加して

生活科学部 生活科学科 4年 西岡奈津美

卒業制作として美馬市にある和傘制作集団の方々のもとで、藍で染めた和傘を制作する機会を頂きました。講義の中で和傘の形のランプシェードを制作したことはありましたが、和傘を作ったことは一度もありません。和傘制作の方々からのリアルな和傘の現状を聞き、技術の後継者がいないことや和傘の消滅が遠い未来の話ではないことを知りました。私がデザインして制作した和傘を見たときに、和傘を身近に感じて魅力や興味を持っていただくきっかけになればと思います。

社長のかばんもちに参加して

経営情報学部 経営情報学科 3年 知賀 好美

私は、社長のかばんもちに参加して常に学び続けることの大切さを学びました。また、社長の参加する勉強会に同行させていただき、忙しい中でも積極的に学ぶ姿勢を大切にしている人が徳島県の中でもとてもたくさんいらっしゃることに気づくことができました。これからは、ただ講演や人の話を聞くだけでなく出来る限り自分の中で理解を深められるように意識していこうと思いました。

チャレンジショップin東新町に参加して

看護学部 看護学科 4年 向井隆一郎

今回COC+のチャレンジショップに参加してみて、飲食店などの商店を開く大変さを学ぶことができました。特に、集客はとても大変でした。当初は、SNSなどの媒体を使って宣伝することなど考えていましたが、初めは集まらず苦労しました。しかし、出店の回数を重ねていくうちに、接客方法やお店の回し方などを徐々に理解することによってお客さんの数も増えていきました。学生の頃に出来たことは貴重な体験で、将来にも生かしたいです。

新あわ学コースに参加して

経営情報学部 経営情報学科 1年 林 久瑠実

私は、新あわ学コースの中でいくつかの講座を受講しました。特に印象的であったのは、「糖尿病対策！徳島新しい健康法」という講座です。体験型の講座で、ジャッキー・チェンにも教えたことのある范永輝先生から太極拳を教わり、初めての体験であったため新鮮な気持ちで楽しむことができました。新あわ学コースでは、徳島のことを様々な分野でより深く知ることができ、また、大学生のみならず地域の方も参加できるので、地域交流の場でもあると感じました。

美馬市「ミライズ」落成式での書道パフォーマンスについて

四国大学文学部 書道文化学科 3年 有志グループ「West Girls」代表 那須 彩乃

「ミライズ」とは、2018年の春に美馬市に設立された、市民が集う施設です。その落成式の中で、私たちWest Girlsが書道パフォーマンスを披露することになりました。

2018年5月12日(土)に行われた本番の落成式では、約500名の関係者の皆さんの前でパフォーマンスをすることに朝から緊張していました。出番直前の控え室では、「ミライズに集う人々の個性が合わさって発展する場所であって欲しい」という願いを込めてパフォーマンスしよう、とメンバー全員で話し合いました。書き終えると、観客の盛大な拍手が鳴りやまず、大きな仕事をやりきった気持ちと、私たちの想いが伝わった喜びで一杯になりました。私たちは県外の学生がほとんどです。全く知らなかった美馬市で地域貢献が成し遂げられた事は、これまでにない貴重な経験になりました。

とくしま学生ビジネスプラン道場に参加して

経営情報学部 経営情報学科 3年 元木 亨

COC+「とくしまビジネスプラン道場」に参加し、自分自身とても大きな成長を遂げることができたと実感しています。当初は、授業の一環で考えたプランでしたが、まさかの準グランプリという賞をいただき、しかも今では商品化まで、もう少しというところまで進んでいる状況です。また、この過程でたくさんの繋がりができ、本当にこのCOC+事業に参加できたことに感謝しております。

